

## 第3章 水環境の保全

### 第1節 水質汚濁の状況

#### 1 環境基準等

水質汚濁に係る環境基準は、「環境基本法」により人の健康の保護に関する基準と生活環境の保全に関する基準が定められている。この基準は、工場・事業場からの排水等の規制基準ではなく、公共用水域及び地下水の水質保全のための行政上の目標として、維持することが望ましい基準とされている。

人の健康の保護に関する環境基準は、すべての公共用水域及び地下水に一律に適用され、カドウム等23項目について定められている。

生活環境の保全に関する環境基準は、上水道、農業用水等、各公共用水域の利水目的に応じて水域ごとに類型指定を行うこととされており、本県においては千代川、天神川、日野川、湖山池、東郷池、中海、美保湾及び日本海沿岸の各水域について類型指定が行われている。

このほかに現時点では環境基準項目ではないが、今後、科学的知見を集積すべき項目並びに評価の目安として「要監視項目」及び「公共用水域等における農薬の水質評価指針」が定められている。

#### 2 環境基準のあてはめ

水質汚濁に係る環境基準は昭和45年4月21日に閣議決定された。この環境基準は、人の健康の保護に関する環境基準と生活環境の保全に関する環境基準からなっている。

人の健康の保護に関する環境基準は、全公共用水域に一律に適用され、かつ、直ちに達成維持するものとされている。

生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼、海域ごとに利用目的に応じて知事があてはめることとされており、県下の公共用水域のうち千代川、天神川、日野川、湖山池、東郷池、中海、美保湾及び日本海沿岸海域について、表26のとおり水質汚濁に係る環境基準の水域類型のあてはめを行い、これを水質保全行政の目標としている。

表26 県内水域の環境基準あてはめ状況

水 域 名	告 示 年月日	類 型	環境基準の 達成 期 間	基 準 値						
				pH	BOD	COD	SS	DO	大腸菌群数	油分
千代川上流（有富川との合流点から上流）	昭和 46. 9.14	河川 A A	直ちに達成する。	6.5~8.5	mg/ℓ 1以下	mg/ℓ	mg/ℓ 25以下	mg/ℓ 7.5以上	MPN/100ml 50以下	
天神川上流（小鴨川との合流点から上流）	"	" A A	"	"	"		"	"	"	
日野川上流（日野橋から上流）	"	" A A	"	"	"		"	"	"	
千代川下流（有富川との合流点から下流）	46. 9.14	河川 A	直ちに達成する。	6.5~8.5	2以下		25以下	7.5以上	1,000以下	
天神川下流（小鴨川との合流点から下流）	"	" A	"	"	"		"	"	"	
日野川下流（日野橋から下流）	"	" A	"	"	"		"	"	"	
湖山池全域	46. 9.14	湖沼 A	5年以内で可及的すみやかに達成する。	6.5~8.5		3以下	5以下	7.5以上	1,000以下	
東郷池全域	"	" A	"	"		"	"	"	"	
斐伊川水系の中海及び境水道	47.10.31	" A	"	"		"	"	"	"	
美保湾（計画港湾施設内の海域）	48. 3.20	海域 B	直ちに達成する。	7.8~8.3		3以下		5以上	-	検出されないこと
美保湾（その他の海域）	"	" A	5年以内で可及的すみやかに達成する。	7.8~8.3		2以下		7.5以上	1,000以下	検出されないこと
鳥取県地先海域（美保湾を除く）	48. 3.30	" A	直ちに達成する。	"		"		"	"	"

水 域 名	告示年月日	類 型	環境基準の達成期間	基 準 値	
				全窒素	全 磷
斐伊川水系の中海及び境水道	昭和 61. 4. 1	湖 沼 III	段階的に暫定目標を達成しつつ環境基準の可及的速やかな達成に努める。	mg/ℓ 0.4以下 湖沼水質保全計画 水質目標値 (H10年度) 0.65	mg/ℓ 0.03以下 湖沼水質保全計画 水質目標値 (H10年度) 0.069
千代川水系 の湖山池	平成 8. 4. 19	湖 沼 III	段階的に暫定目標を達成しつつ環境基準の可及的速やかな達成に努める。	mg/ℓ 0.4以下 湖山池水質管理計画 水質目標値 (H12年度) 0.79	mg/ℓ 0.03以下 湖山池水質管理計画 水質目標値 (H12年度) 0.056

### 3 水質汚濁の現況

県内の公共用水域について、水質汚濁防止法に基づく水質測定計画を定め、関係機関（建設省、鳥取市、倉吉市、米子市、船岡町、青谷町、岸本町）の協力を得て、水質の測定を行った。

対象水域の概要図は資料26に示す。

(測定対象公共用水域)

河川	千代川水系	千代川、旧袋川、孤川、山白川、天神川、湖山川、枝川、福井川、三山口川、野坂川、袋川、有富川、大路川、砂見川、八東川、私都川、佐治川、大江川、見槻川
	天神川水系	天神川、国府川、小鴨川、鴨川、玉川、絵下谷川、鉢屋川、三徳川、加茂川
	日野川水系	日野川、法勝寺川、板井原川、小松谷川、別所川
	二級河川	蒲生川、塩見川、河内川、勝部川、由良川、加勢蛇川、阿弥陀川、佐陀川
	斐伊川水系	旧加茂川、加茂川、大正川
湖沼	湖山池、多鯉ヶ池、東郷池、中海	
海域	美保湾、日本海沿岸	

(1) 人の健康の保護に関する項目〔健康項目〕

平成9年度は38河川103地点3,508検体、4湖沼15地点727検体及び2海域16地点564検体、合計134地点4,799検体について測定を行った。その結果、前年度と同様に全検体が環境基準に適合しており、調査を実施した県内の公共用水域は全水域とも清浄であった。

なお、検体数の算定についてはカドウム、シアン等の各項目を1検体として扱っている。

表27 人の健康の保護に関する環境基準(昭46.12.28 環境庁告示第59号)

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B
新基準値	0.01mg/ℓ以下	検出されないこと	0.01mg/ℓ以下	0.05mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	0.0005mg/ℓ以下	検出されないこと	検出されないこと
項目	トトリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
新基準値	0.03mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	0.02mg/ℓ以下	0.002mg/ℓ以下	0.004mg/ℓ以下	0.02mg/ℓ以下	0.04mg/ℓ以下	1mg/ℓ以下
項目	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	
新基準値	0.006mg/ℓ以下	0.002mg/ℓ以下	0.006mg/ℓ以下	0.003mg/ℓ以下	0.02mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	0.01mg/ℓ以下	

(2) 生活環境の保全に関する項目〔生活環境項目〕

河川 pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数

湖沼 pH、COD、SS、DO、大腸菌群数、全窒素、全磷

海域 pH、COD、油分、DO、大腸菌群数

ア 概 要

主要水域の水質汚濁状況の概要を生活環境項目の代表的指標であるBOD(河川に適用)又はCOD(湖沼、海域に適用)で見れば、次のとおりである。

(注) 本白書では、BOD及びCODの評価について、環境基準の類型をあてはめている水域に対する環境基準の達成状況、又はその他の水域に対する基準相当類型の評価に関しては75%値(表27注を参照)を適用し、水質の汚濁状況、水質の経年変化等の評価には、年平均値を用いている。

《河川》

一級河川(千代川、天神川、日野川)の水質は、おおむね下流部は環境基準に定める河川類型

AA～A(表28参照、以下同じ)、上流部は河川類型AA～Aに相当しており日野川上流部を除き環境基準に適合している。

二級河川(蒲生川、塩見川、河内川、勝部川、由良川、加勢蛇川、阿弥陀川、佐陀川)について見ると、勝部川の一部に類型Dに相当する地点があるものの、他の地点はすべて類型AA～Aに相当しており、おおむね清浄な水質である。

都市河川のうち、鳥取市内を流れる旧袋川は河川類型A～B相当、倉吉市内の玉川は類型AA～C相当、また米子市内の旧加茂川は類型Aに相当する水質であり玉川の一部は依然として汚濁している。

《湖 沼》

湖山池はCOD(75%値)5.4～6.2mg/lで湖沼類型Cに相当、多鯰ヶ池は2.8～3.1mg/l(同A～B相当)、東郷池5.2～5.4mg/l(同C相当)と多鯰ヶ池を除きいずれも池全体が汚濁しているが、中海は2.9～5.7mg/l(同A～C相当)と地点によって汚濁状況に幅がある。

また、全窒素、全磷については、湖山池は全窒素がⅣ～Ⅴに相当し、全磷がⅤ相当、東郷池は全窒素及び全磷がⅤ相当、多鯰ヶ池は全窒素Ⅳ～Ⅴ相当、全磷Ⅱ相当、中海は全窒素及び全磷が類型Ⅳ～Ⅴ相当であり いずれの湖沼も富栄養化している。

《海 域》

美保湾はCOD(75%値)0.9～2.4mg/lと海域の類型A～Bに相当しており、また、本県の日本海沿岸海域は1.2～1.8mg/l(同A相当)と全域ではば清浄な水質を保持している。

なお、県内の17海水浴場はすべて環境庁の判定基準による「水質AA～A」(「適」な水浴場)に該当している。

表28 BOD又はCODの概要及び環境基準適合状況

水域名	地点・名	BOD又はCOD 年平均値 (mg/l)	環境基準適合状況				
			あてはめて いる類型	適合率 (%)	BOD又はCOD 75%値 (mg/l)	相当する 類型	
〔河川〕 (一級河川) 千代川水系	千代川	賀行	1.1	A	100	1.3	A
		露徳	1.2	A	100	1.3	A
		源太	0.8	AA	75.0	1.0	AA
		稲橋	0.8	AA	75.0	1.0	AA
		佐貫	0.9	AA	75.0	0.9	AA
		市瀬	0.5	AA	100	0.5	AA
		毛谷	0.6	AA	100	0.6	AA
	八東川	片山	0.7	—	—	0.7	AA
		万代寺	0.6	—	—	0.6	AA
		岸野	0.5	—	—	0.5	AA
	私都川	下門	0.8	—	—	0.8	AA
		佐治川	0.7	—	—	0.7	AA
	天神川水系	天神川	田後	1.1	A	91.9	1.6

水域名	地点名	BOD又はCOD 年平均値 (mg/l)	環境基準適合状況			
			あてはめて いる類型	適合率 (%)	BOD又はCOD 75%値 (mg/l)	相当する 類型
天神川	小田原	1.0	A	96.4	1.2	A
		0.8	AA	81.8	0.9	AA
		0.8	AA	81.8	1.0	AA
		0.6	AA	100	0.5	AA
小鴨川	巖城町 原	1.0	—	—	1.1	A
		0.7	—	—	0.8	AA
		0.7	—	—	0.9	AA
		0.5	—	—	0.6	AA
三徳川	今瀬	0.7	—	—	0.7	AA
		0.7	—	—	0.7	AA
加茂川	森	0.7	—	—	0.7	AA
		0.6	—	—	0.6	AA
日野川水系 日野川	皆生 車尾 八幡 溝口 武庫 下榎 生山 矢戸 福市 法勝 寺尾	0.7	A	100	0.8	AA
		0.8	A	96.7	0.8	AA
		0.7	AA	100	0.8	AA
		0.9	AA	63.6	1.1	A
		0.6	AA	100	0.7	AA
		0.5	AA	100	0.5	AA
		0.5	AA	100	0.5	AA
		0.6	AA	100	0.5	AA
		1.1	—	—	1.1	A
		0.9	—	—	1.1	A
0.5	—	—	0.5	AA		
(二級河川)	蒲生川 塩見川 河内川 勝部川 由良川 加勢蛇川 阿弥陀川 佐陀川 旧袋川 玉川 旧加茂川	0.6~1.3	—	—	<0.5~0.6	AA
		0.6~1.8	—	—	<0.5~1.4	AA~A
		0.6~1.0	—	—	<0.5~1.0	AA
		0.5~5.3	—	—	<0.5~6.9	AA~D
		1.1~1.6	—	—	1.2~1.8	A
		0.6	—	—	<0.5~0.6	AA
		0.6~0.7	—	—	<0.5~0.9	AA
		0.7~1.1	—	—	0.7~1.4	AA~A
		0.9~2.1	—	—	1.1~2.7	A~B
		0.6~6.2	—	—	0.6~4.2	AA~C
1.4~1.8	—	—	1.7~1.9	A		
〔湖沼〕	湖山池 東郷池 多鯰ヶ池 中海	4.9~5.4	A	0	5.4~6.2	C
		4.9~5.1	A	0	5.2~5.4	C
		3.0~3.2	—	—	2.8~3.1	A~B
		1.9~5.9	A	5.3~100	2.4~5.8	A~C
〔海域〕	美保湾	0.8~2.1	A	58.3~100	0.9~2.4	A~B
		1.1	B	100	1.4	A
日本海沿岸 海水浴場	8地点 17地点	1.0~1.3	A	100	1.2~1.8	A
		<0.8~1.5	(A)	100	0.8~1.8	A

(備考・海水浴場については、開設期間内に測定した「遊泳区域」の水質を示す。)

(注) 適合率(%) =  $\frac{\text{環境に適合した日数}}{\text{総測定日数}} \times 100$

適合率が75%以上の場合、環境基準に適合しているものとする。(環境庁通達)

75%値 年間のy個の日間平均値の全データを値の小さいものから順に並べた場合の(y×0.75)番目(その数が整数でない時は、直近上位の整数)の数値をいい、環境基準の水域類型にあてはめに係る水質値を示す。

〔例〕A地点の測定値(平均値)が下記の場合

6.0 6.1 6.2 6.5 6.7 6.8 6.8 7.0 7.5 8.0

75%値=10×0.75=7.5→8番目の値 7.0

表29 全窒素、全磷の環境基準適合状況

水域名	あてはめている環境基準類型	環境基準適合状況						
		地点名	全窒素 年平均値 (mg/l)	環境基準 適合率 (%)	相当する 環境基準 類型	全磷 年平均値 (mg/l)	環境基準 適合率 (%)	相当する 環境基準 類型
湖山池	Ⅲ {全窒素 0.4mg/l以下 全磷 0.03mg/l以下}	布勢地先	0.64	0 (91.7)	V	0.070	0 (33.3)	V
		堀越地先	0.59	8.3 (91.7)	Ⅳ	0.063	16.7 (50.0)	V
		中央部	0.62	8.3 (83.3)	V	0.069	16.7 (58.3)	V
		松原地先	0.53	16.7 (100)	Ⅳ	0.057	16.7 (50.0)	V
東郷池	—	下浅津地先	0.87		V	0.063		V
		中央部	0.87		V	0.063		V
		野花地先	0.90		V	0.068		V
		松崎地先	0.91		V	0.058		V
多鯰ヶ池	—	西部	0.63		V	0.008		Ⅱ
		東南部	0.59		Ⅳ	0.007		Ⅱ
		北部	0.62		V	0.008		Ⅱ
中海	Ⅲ {全窒素 0.4mg/l以下 全磷 0.03mg/l以下}	境水道 中央部	0.42	45.8 (95.8)	Ⅳ	0.036	41.7 (91.7)	Ⅳ
		渡町地先	0.44	58.3	Ⅳ	0.041	41.7	Ⅳ
		葭津地先	0.50	25.0 (95.8)	Ⅳ	0.047	20.8 (83.3)	Ⅳ
		米子湾 中央部	0.86	8.3 (50.0)	V	0.094	8.3 (54.2)	V
		美保飛行場 地先	0.43	25.0	Ⅳ	0.045	8.3	Ⅳ
		彦名町地先	0.58	8.3	Ⅳ	0.058	0	V
		旧加茂川 河口地先	0.97	0	V	0.100	0	V
		境水道出口	0.33	91.7	Ⅲ	0.033	66.7	Ⅳ
		中浜港	0.49	33.3	Ⅳ	0.054	16.7	V

(注) 評価方法 表層の年間平均値により行うものとする。(環境庁水質保全局長通達)

適合率 (環境基準に適合した検体数/総検体数) × 100

環境基準適合率、環境基準適合状況の( )

〔湖山池〕鳥取県告示第278号の平成12年における暫定目標値に対する適合率、適合状況である。

暫定目標値 全窒素0.79mg/l、全磷0.056mg/l

〔中海〕「第2期中海に係る湖沼水質保全計画」に定める平成10年度における水質目標値に対する適合率、適合状況である。

湖沼水質保全計画水質目標値：全窒素0.65mg/l 全磷0.069mg/l

イ 水域別

(ア) 河川

a 三大河川

○千代川水系

千代川は有富川との合流点（河口から約7km上流）から上流は河川類型AA、下流は類型Aの環境基準が指定されており、BOD（75%値）で見ると、7測定地点（類型AA水域5地点、A水域2地点）の全てが基準に適合している。その他の項目について、それぞれの指定類型に対する環境基準適合率を見ると類型AAの水域ではDO100%、SS100%、大腸菌群数0%、類型Aの水域でDO100%、SS100%、大腸菌群数20.8%となっている。

各河川の水質の状況をBOD年平均值で見れば、千代川（0.5~1.2mg/l）及び千代川に流入する八東川、私都川、佐治川（0.5~0.8mg/l）とおおむね清浄である。

水質の汚濁状況（BOD）を前年度と比較するとやや良くなっているが、経年的に見るとほぼ同程度である。

（注）各河川の水質経年変化、環境基準適合率の詳細については資料27を参照のこと。）

表30 測定結果

河川名	指定類型	地点名	測定日数	pH	DO (mg/l)	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	8年度BOD (mg/l)	
千代川水系	A	賀露	12	7.6	9.3	1.1(1.3)	5	$3.3 \times 10^2 \sim 3.3 \times 10^4$	1.3	
	A	行徳	12	7.3	9.6	1.2(1.3)	7	$9.2 \times 10^2 \sim 1.4 \times 10^5$	1.3	
	AA	源太橋	12	7.3	9.9	0.8(1.0)	4	$7.0 \times 10^2 \sim 3.5 \times 10^4$	0.9	
	AA	稲常	12	7.5	11	0.8(1.0)	5	$4.6 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^5$	1.1	
	AA	佐貫	12	7.5	10	0.9(0.9)	3	$7.9 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^5$	1.1	
	AA	市瀬	12	7.2	10	0.5(0.5)	2	$2.7 \times 10^2 \sim 2.2 \times 10^4$	0.7	
	AA	毛谷	12	7.2	10	0.6(0.6)	1	$1.7 \times 10^2 \sim 2.3 \times 10^4$	0.6	
	八東川	—	片山	12	7.2	10	0.7(0.7)	3	$3.1 \times 10^2 \sim 2.2 \times 10^4$	0.6
		—	万代寺	12	7.3	11	0.6(0.6)	2	$2.3 \times 10^2 \sim 2.3 \times 10^4$	0.7
		—	岸野	12	7.1	10	0.5(0.5)	1	$2.3 \times 10^2 \sim 1.3 \times 10^4$	0.7
私都川	—	下門尾	12	7.2	10	0.8(0.8)	5	$3.3 \times 10^2 \sim 7.0 \times 10^4$	0.8	
佐治川	—	小原	12	7.2	10	0.7(0.7)	3	$6.8 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^4$	0.7	

( )内は75%値

(測定地点図)  
〔千代川〕

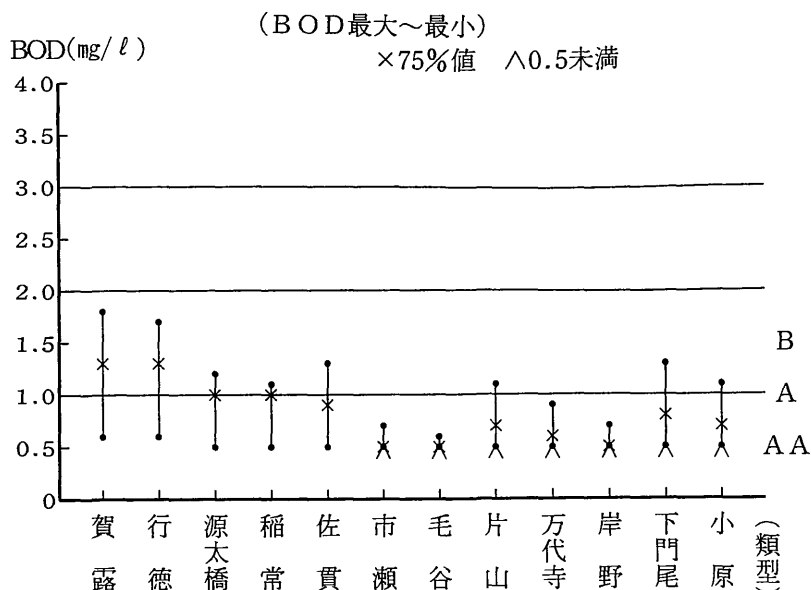
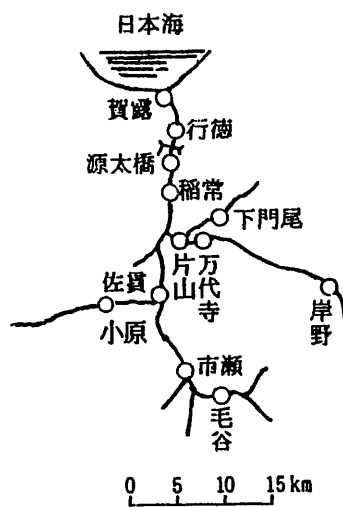


表31 経年変化

水域名	地点名	BOD年平均值 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
千代川水系 千代川	賀露	➡ 1.2	1.2	➡ 2.1	⇨ 1.5	1.3	1.1
	行徳	1.0	1.0	➡ 1.4	1.3	1.3	1.2
	源太橋	0.7	➡ 1.0	➡ 1.4	⇨ 1.0	0.9	0.8
	稲常	➡ 1.4	⇨ 0.9	➡ 1.6	⇨ 1.0	1.1	⇨ 0.8
	佐貫	0.9	0.9	➡ 1.6	1.4	⇨ 1.1	0.9
	市瀬	0.8	0.8	0.8	0.9	0.7	0.5
八東川	毛谷	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6
	片山	0.8	0.7	➡ 1.1	⇨ 0.7	0.6	0.7
	万代寺	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6
私都川	岸野	0.8	➡ 0.7	0.7	0.6	0.7	0.5
	下門尾	➡ 0.9	0.8	➡ 1.1	⇨ 0.8	0.8	0.8
佐治川	小原	➡ 0.9	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7

(注) ⇨ 前年度に比べ良くなったもの    ➡ 前年度に比べ悪化したもの

○天神川水系

天神川は小鴨川合流点（河口から約7 km上流）から上流は、河川類型AA、下流は類型Aの環境基準が定められており、BOD（75%値）でみれば5測定地点（類型AA水域3地点、A水域2地点）の全てが基準に適合している。BOD以外の項目の環境基準適合率をみると、類型AAの水域では、DO100%、SS100%、大腸菌群数0%、類型Aの水域で、DO100%、SS100%、大腸菌群数10.3%となっている。

各河川の水質の状況をBOD年平均值で見れば、天神川（0.6~1.1mg/l）及び天神川に流入する小鴨川（0.5~1.0mg/l）、三徳川（0.7mg/l）とおおむね清浄である。

水質の汚濁状況（BOD）を前年度と比較すると、やや良くなっているが、経年的に見るとほぼ同程度である。



表32 測定結果

河川名	指定類型	地点名	測定日数	pH	DO (mg/l)	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	8年度BOD (mg/l)
天神川水系	A	田後	13	7.2	10	1.1(1.6)	4	$2.3 \times 10^2 \sim 2.3 \times 10^4$	1.2
	A	小田	30	7.3	10	1.0(1.2)	4	$4.6 \times 10^2 \sim 6.0 \times 10^4$	1.1
	AA	大原	13	7.3	11	0.8(0.9)	3	$4.9 \times 10^2 \sim 4.9 \times 10^4$	1.1
	AA	今泉	13	7.3	11	0.8(1.0)	3	$2.3 \times 10^2 \sim 7.9 \times 10^3$	1.0
	AA	穴鴨	12	7.0	11	0.6(0.5)	3	$2.3 \times 10^2 \sim 3.5 \times 10^4$	0.6
	—	巖城	13	7.2	9.9	1.0(1.1)	5	$4.9 \times 10^2 \sim > 2.4 \times 10^5$	1.2
	—	河原町	13	7.4	10	0.7(0.8)	3	$4.3 \times 10^2 \sim 7.9 \times 10^4$	1.1
	—	関金	13	7.5	10	0.7(0.9)	3	$1.1 \times 10^3 \sim 1.3 \times 10^4$	1.1
	—	今西	12	7.1	10	0.5(0.6)	2	$1.3 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^5$	0.7
	—	福光	13	7.2	10	1.1(1.5)	7	$7.9 \times 10^2 \sim 7.9 \times 10^4$	1.3
三徳川	—	大瀨	12	7.1	10	0.7(0.7)	4	$1.3 \times 10^3 \sim 1.6 \times 10^5$	0.8
	—	片柴	12	7.1	10	0.7(0.7)	5	$4.9 \times 10^2 \sim 1.6 \times 10^5$	0.6
加茂川	—	森	12	7.0	10	0.6(0.6)	5	$2.3 \times 10^2 \sim 5.4 \times 10^4$	0.6

(測定地点図)

(天神川)



( )内は75%値

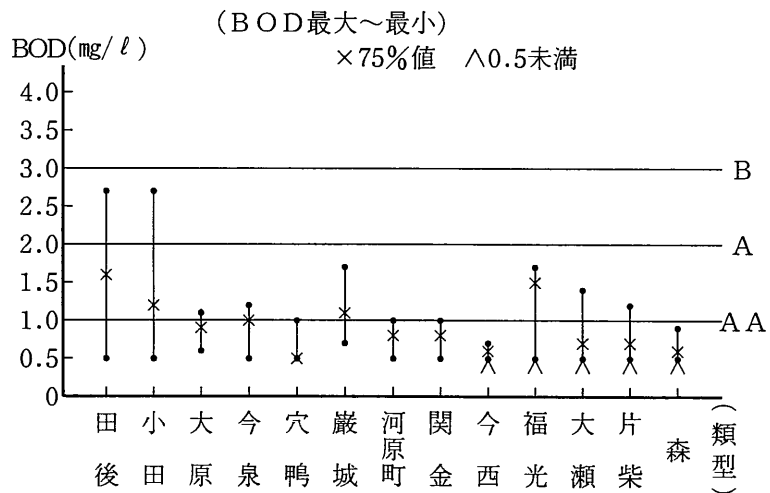


表33 経年変化

水域名	地点名	BOD年平均值 (mg/l)						
		H 4 年度	H 5 年度	H 6 年度	H 7 年度	H 8 年度	H 9 年度	
天神川水系	天神川	田後	1.2	1.0	1.1	➡ 1.4	1.2	1.1
		小田	0.9	0.8	➡ 1.1	➡ 1.1	1.1	1.0
		大原	0.9	⇨ 0.6	➡ 0.9	0.9	1.1	⇨ 0.8
		今泉	0.7	0.5	➡ 0.9	1.1	1.0	0.8
		穴鴨	0.7	0.5	➡ 0.9	⇨ 0.6	0.6	0.6
小鴨川	巖城	0.9	⇨ 0.6	➡ 1.2	1.1	1.2	1.0	
		河原町	0.8	0.6	➡ 1.2	1.1	1.1	⇨ 0.7
		関金	0.8	0.6	➡ 1.3	1.1	1.1	⇨ 0.7
三徳川	今西	0.7	0.5	➡ 0.9	⇨ 0.6	0.7	0.5	
		大瀨	0.9	⇨ 0.6	➡ 0.9	0.8	0.8	0.7
加茂川	片柴	0.8	0.6	0.8	0.7	0.6	0.7	
		森	0.7	0.6	➡ 0.9	0.7	0.6	0.6

○日野川水系

日野川は日野橋（河口から約3km上流）から上流は河川類型AA、下流は類型Aの環境基準が定められており、BOD（75%値）てみれば8測定地点（類型AA水域6地点、A水域2地点）のうち、類型AAの1地点が基準に適合しておらず類型Aに相当している。BOD以外の項目の環境基準適合率をみると、類型AAの水域では、DO100%、SS98.6%、大腸菌群数0%である。また、類型Aの水域では、DO97.6%、SS100%、大腸菌群数は38.1%となっている。

各河川の水質の状況をBOD年平均値で見れば、日野川（0.5~0.9mg/l）及び法勝寺川（0.9~1mg/l）、板井原川（0.5mg/l）とも、おおむね清浄である。

水質の汚濁状況（BOD）を前年度と比較するとやや良くなっているが、経年的に見るとほぼ同程度である。

表34 測定結果

水域名	指定類型	地点名	測定日数	pH	DO (mg/l)	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	8年度BOD (mg/l)	
日野川水系	A	皆生	14	7.2	9.6	0.7(0.8)	4	$4.9 \times 10^2 \sim 1.6 \times 10^4$	1.1	
	A	車尾	32	7.4	10	0.8(0.8)	3	$2.1 \times 10^2 \sim 1.6 \times 10^4$	1.0	
	AA	八幡	14	7.5	10	0.7(0.8)	3	$2.3 \times 10^2 \sim 1.6 \times 10^4$	0.8	
	AA	溝口	13	7.3	10	0.9(1.1)	6	$1.3 \times 10^2 \sim 1.6 \times 10^4$	0.9	
	AA	武庫	12	7.1	11	0.6(0.7)	8	$3.1 \times 10^2 \sim 2.4 \times 10^4$	0.8	
	AA	下榎	12	6.9	11	0.5(0.5)	6	$3.3 \times 10^2 \sim 1.3 \times 10^5$	0.7	
	AA	生山	12	7.1	11	0.5(0.5)	4	$3.3 \times 10^2 \sim 4.9 \times 10^4$	0.7	
	AA	矢戸	12	7.3	11	0.6(0.5)	2	$1.3 \times 10^2 \sim 2.2 \times 10^4$	0.6	
	法勝寺川	-	福市	14	7.2	9.7	1.1(1.1)	10	$2.3 \times 10^3 \sim 9.2 \times 10^4$	1.1
	法勝寺川	-	法勝寺	14	7.3	10	0.9(1.1)	5	$7.9 \times 10^2 \sim 5.4 \times 10^4$	1.0
板井原川	-	高尾	12	7.1	10	0.5(0.5)	2	$1.3 \times 10^2 \sim 1.3 \times 10^4$	0.5	

( )内は75%値

(測定地点図)  
〔日野川〕

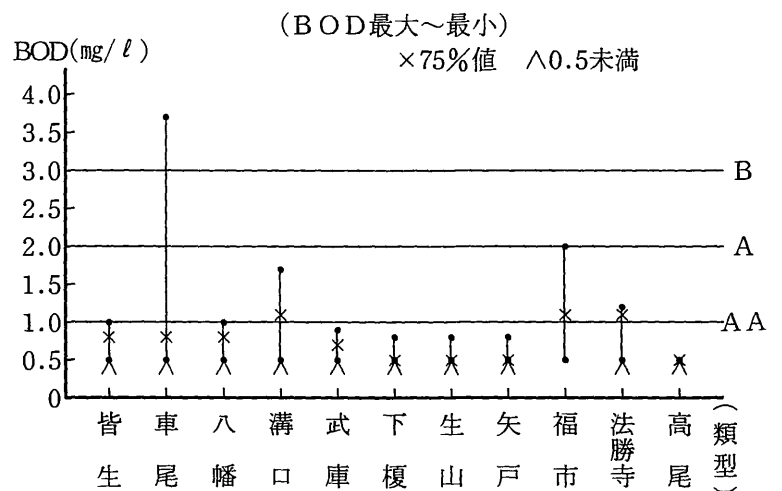
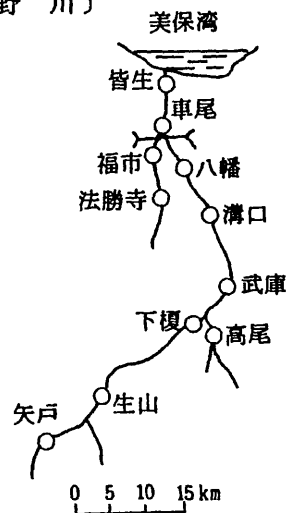


表35 経年変化

水 域 名	地 点 名	B O D 年 平 均 値 (mg / ℓ)					
		H 4 年 度	H 5 年 度	H 6 年 度	H 7 年 度	H 8 年 度	H 9 年 度
日 野 川 水 系 日 野 川	皆 生	0.9	0.7	➡ 1.4	⇨ 0.9	1.1	⇨ 0.7
	車 尾	0.7	0.7	➡ 1.1	1.1	1.0	0.8
	八 幡	0.7	0.7	0.9	0.8	0.8	0.7
	溝 口	0.7	0.7	➡ 1.0	0.9	0.9	0.9
	武 庫	0.7	0.6	➡ 0.9	0.7	0.8	0.6
	下 榎	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5
	生 山	0.6	0.6	➡ 1.0	⇨ 0.6	0.7	0.5
法 勝 寺 川	矢 戸	0.6	0.5	➡ 0.8	0.6	0.6	0.6
	福 勝 寺	1.1	1.1	➡ 1.6	⇨ 1.0	1.1	1.1
板 井 原 川	法 勝 寺	1.2	⇨ 0.9	➡ 1.4	⇨ 1.0	1.0	0.9
	高 尾	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5

b 都市河川

旧袋川（鳥取市）の水質は、BOD（75%値）1.1~2.7mg/ℓ（河川類型A~B相当）であり、前年度の測定結果と比べると良くなっている。

玉川（倉吉市）は、上流部の八幡町（0.6mg/ℓ 河川類型AA相当）、下流部の巖城（1.9mg/ℓ 河川類型A相当）を除いて4.0~4.2mg/ℓ（河川類型C相当）と一部は依然として汚濁しており 宮川町、西仲町、余戸谷町の汚濁が著しいが、前年度と比較するとやや良くなっている。

旧加茂川（米子市）は1.7~1.9mg/ℓ（河川類型A相当）と前年度と比較すると良くなっている。

これら都市河川の水質の汚濁状況（BOD）を経年的に見ると、旧袋川、玉川、旧加茂川ともやや良くなっている。

表36 測定結果

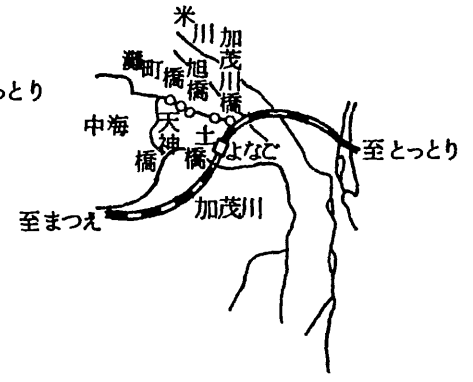
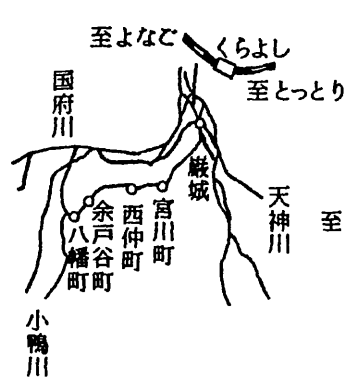
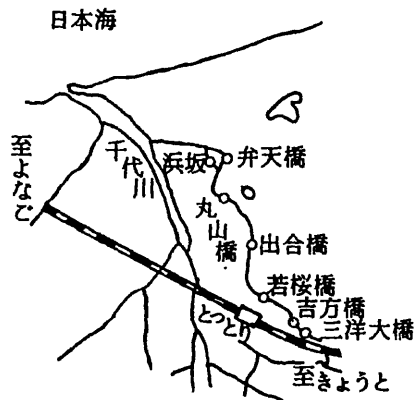
河 川 名	指 定 類 型	地 点 名	測 定 日 数	pH	D O (mg / ℓ)	B O D (mg / ℓ)	S S (mg / ℓ)	大 腸 菌 群 数 (M P N / 100 ml)	8 年 度 B O D (mg / ℓ)
旧 袋 川	—	浜 坂	11	7.0	8.0	2.1(2.7)	12	2.0 ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	2.9
	—	弁 天 橋	12	7.0	8.8	1.3(1.3)	7	4.5×10 <sup>2</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	2.2
	—	丸 山	11	7.0	8.7	1.4(2.4)	6	1.3×10 <sup>3</sup> ~ 1.7×10 <sup>5</sup>	1.7
	—	出 合 橋	18	7.2	9.2	1.2(1.4)	9	4.5×10 <sup>2</sup> ~ 1.4×10 <sup>5</sup>	2.0
	—	若 桜 橋	12	7.1	9.8	1.5(1.7)	12	2.2×10 <sup>3</sup> ~ 1.1×10 <sup>5</sup>	1.6
	—	吉 方 橋	19	7.4	9.8	1.4(1.9)	10	1.1×10 <sup>3</sup> ~ 1.3×10 <sup>5</sup>	2.1
	—	三 洋 大 橋	6	6.7	11	0.9(1.1)	4	2.3×10 <sup>2</sup> ~ 1.7×10 <sup>5</sup>	1.8
玉 川	—	巖 城	12	6.9	9.7	1.4(1.9)	5	3.3×10 <sup>3</sup> ~ 7.9×10 <sup>4</sup>	2.2
	—	宮 川 町	12	7.2	9.5	3.8(4.2)	6	2.3×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	4.5
	—	西 仲 町	12	7.1	8.9	3.6(4.0)	12	2.3×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	3.8
	—	余 戸 谷 町	12	7.1	9.1	6.2(4.0)	9	3.3×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	9.4
	—	八 幡 町	12	7.2	10	0.6(0.6)	2	4.9×10 <sup>2</sup> ~ 3.3×10 <sup>4</sup>	0.6
旧 加 茂 川	—	灘 町 橋	12	7.1	8.6	1.4(1.9)	10	2.2×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	2.5
	—	天 神 橋	12	7.3	8.9	1.5(1.8)	13	4.9×10 <sup>3</sup> ~ 1.7×10 <sup>5</sup>	2.6
	—	旭 橋	12	7.2	9.4	1.5(1.7)	10	2.3×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	3.0
	—	土 橋	12	7.2	9.8	1.8(1.9)	11	7.9×10 <sup>2</sup> ~ 2.4×10 <sup>5</sup>	3.3
	—	加 茂 川 橋	12	7.0	9.4	1.8(1.7)	10	3.3×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	3.3

( ) 内は75%値

(測定地点図)  
〔旧袋川〕

〔玉川〕

〔旧加茂川〕



(BOD最大~最小値)  
×75%値  
△0.5未満

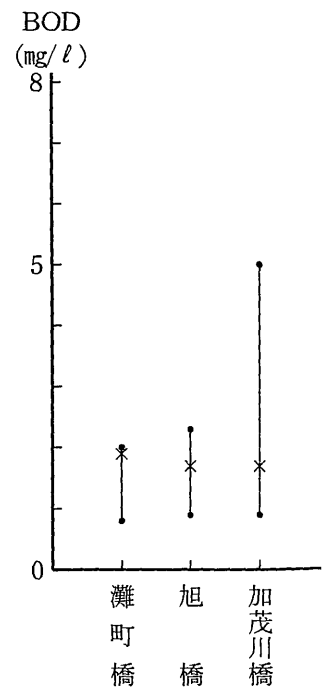
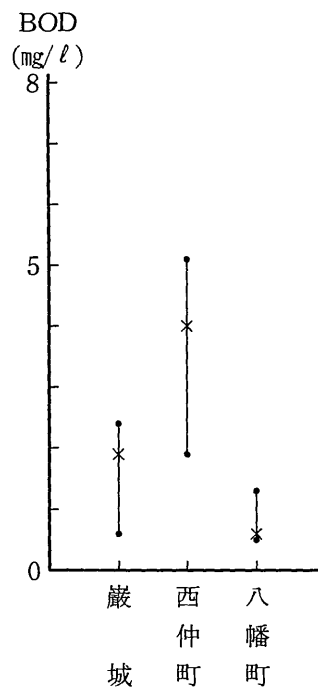
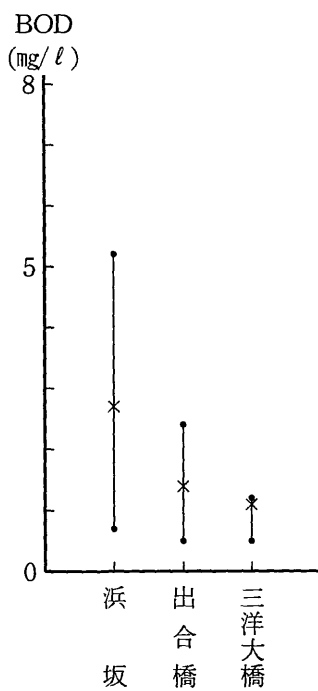


表37 経年変化

水域名	地点名	BOD年平均值 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
旧袋川	7地点	1.6~3.0	⇒1.5~2.2	⇒1.7~5.0	⇒1.3~3.8	1.6~2.9	⇒0.9~2.
玉川	5地点	⇒0.9~11	⇒0.7~15	0.9~9.9	0.6~13	⇒0.6~9.4	⇒0.6~6.
旧加茂川	5地点	⇒1.6~3.2	1.7~3.7	1.9~3.9	⇒1.6~2.1	⇒2.5~3.3	⇒1.4~1.

c 二級河川

県内の主要二級河川8河川について、それぞれ各3地点の測定結果を見ると、蒲生川、塩見川、河内川、由良川、加勢蛇川、阿弥陀川、佐陀川はBOD(75%値)で見ると河川類型AA~Aに相当し、おおむね清浄な水質であり 勝部川も一部の地点を除きおおむね清浄な水質を維持している。

各河川の水質の汚濁状況(BOD)を前年度と比較すると、やや良くなっているが、経年的に見るとほぼ同程度である。

表38 測定結果

河川名	指定 類型	地点名	測定 日数	pH	DO (mg/l)	BOD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	8年度 BOD (mg/l)
蒲生川	—	本庄	4	7.0	10	1.3(<0.5)	8	2.2×10 <sup>2</sup> ~ 1.3×10 <sup>4</sup>	1.0
	—	恩志	4	6.9	9.8	0.6(<0.5)	2	4.9×10 <sup>2</sup> ~ 1.4×10 <sup>4</sup>	0.8
	—	太田	4	7.0	9.8	0.6(0.6)	12	2.3×10 <sup>2</sup> ~ 1.4×10 <sup>4</sup>	0.7
塩見川	—	細川	4	6.9	7.7	0.9(0.5)	7	1.7×10 <sup>3</sup> ~ 2.4×10 <sup>5</sup>	1.0
	—	海士	4	6.8	7.1	1.8(1.4)	10	1.3×10 <sup>4</sup> ~ 1.6×10 <sup>5</sup>	1.6
	—	箭溪	4	7.1	9.4	0.6(<0.5)	4	7.0×10 <sup>2</sup> ~ 3.5×10 <sup>4</sup>	0.9
河内川	—	宝木	4	6.9	9.5	1.0(1.0)	2	7.9×10 <sup>2</sup> ~ 5.4×10 <sup>4</sup>	0.8
	—	宿	4	7.0	9.9	0.7(<0.5)	3	2.3×10 <sup>2</sup> ~ 2.4×10 <sup>4</sup>	1.0
	—	来日	4	7.1	10	0.6(<0.5)	2	2.3×10 <sup>2</sup> ~ 1.7×10 <sup>3</sup>	0.6
勝部川	—	青谷	11	7.1	8.8	1.8(2.4)	5	2.3×10 <sup>3</sup> ~ >2.4×10 <sup>5</sup>	2.2
	—	吉川	4	6.9	9.9	0.5(<0.5)	2	1.7×10 <sup>3</sup> ~ 7.9×10 <sup>3</sup>	0.6
	—	善田	11	7.0	9.5	1.5(1.7)	11	7.0×10 <sup>2</sup> ~ 2.4×10 <sup>5</sup>	1.4
由良川	—	瀬戸	4	6.9	8.0	1.5(1.8)	18	4.9×10 <sup>3</sup> ~ 3.5×10 <sup>4</sup>	1.4
	—	穴沢	4	6.9	9.0	1.1(1.2)	13	4.9×10 <sup>3</sup> ~ 2.4×10 <sup>4</sup>	1.9
	—	東亀谷	4	7.0	9.1	1.6(1.8)	6	4.9×10 <sup>3</sup> ~ 3.5×10 <sup>4</sup>	2.0
加勢蛇川	—	上伊勢	4	7.2	10	0.6(0.5)	9	1.3×10 <sup>3</sup> ~ 3.3×10 <sup>3</sup>	0.7
	—	八反田	4	7.3	9.8	0.6(0.6)	10	7.9×10 <sup>2</sup> ~ 2.8×10 <sup>3</sup>	0.5
	—	三本杉	4	7.1	10	0.6(<0.5)	21	3.3×10 <sup>2</sup> ~ 1.3×10 <sup>3</sup>	0.9
阿弥陀川	—	所子	4	7.1	10	0.7(0.6)	9	2.8×10 <sup>3</sup> ~ 7.9×10 <sup>3</sup>	0.9
	—	坊領	4	7.1	10	0.7(0.9)	5	2.3×10 <sup>3</sup> ~ 4.9×10 <sup>3</sup>	0.6
	—	前	4	7.1	10	0.6(<0.5)	8	2.3×10 <sup>2</sup> ~ 2.4×10 <sup>3</sup>	1.2
佐陀川	—	佐陀	4	7.1	10	0.7(0.7)	6	3.1×10 <sup>3</sup> ~ 2.2×10 <sup>4</sup>	1.1
	—	吉長	4	6.7	9.7	1.1(1.4)	10	3.3×10 <sup>3</sup> ~ 3.5×10 <sup>4</sup>	1.9
	—	福万	4	7.3	10	0.7(0.8)	14	7.9×10 <sup>2</sup> ~ 2.2×10 <sup>4</sup>	0.8

( )内は75%値

(測定地点図)  
〔蒲生川〕 〔塩見川〕



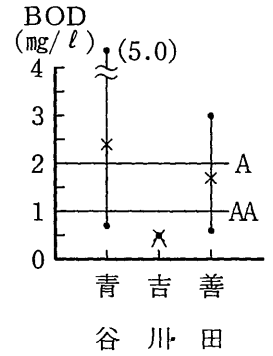
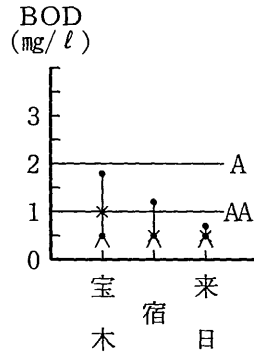
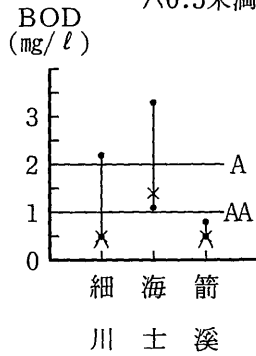
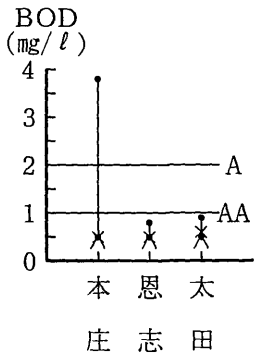
0 5 10km

(BOD最大~最小値)  
×75%値  
△0.5未満

〔河内川〕



〔勝部川〕



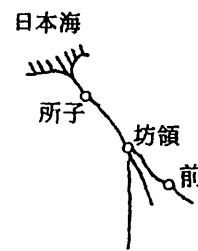
〔由良川〕



〔加勢蛇川〕



〔阿弥陀川〕



〔佐陀川〕

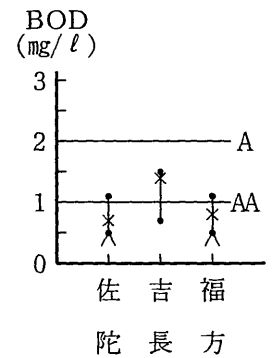
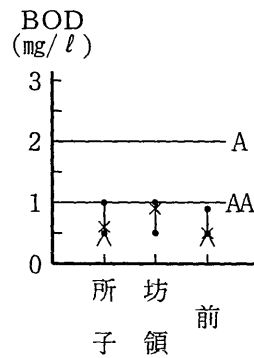
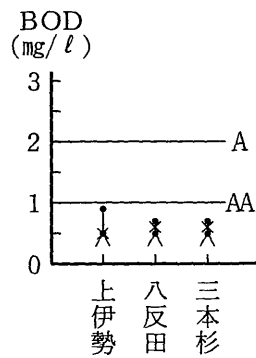
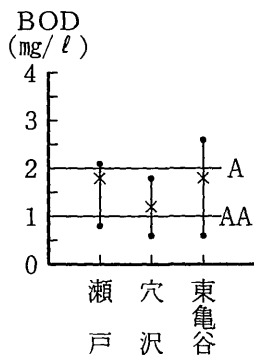
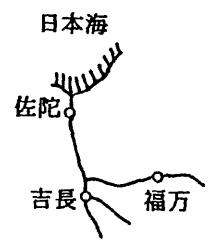


表39 経年変化

水域名	地点名	BOD年平均值 (mg/l)					
		H 4 年度	H 5 年度	H 6 年度	H 7 年度	H 8 年度	H 9 年度
蒲生川	3地点	⇒ 0.9~1.6	⇒ 1.0~1.3	⇒ 1.0~2.7	⇒ 0.9~1.1	0.7~1.0	0.6~1.3
塩見川	〃	⇒ 0.7~2.1	⇒ 1.3~1.6	1.2~2.0	⇒ 0.7~1.3	⇒ 0.9~1.6	0.6~1.8
河内川	〃	⇒ 0.6~1.3	0.6~1.1	⇒ 0.6~3.0	⇒ 0.5~1.0	0.6~1.0	0.6~1.0
勝部川	〃	⇒ 0.8~1.7	0.7~1.6	⇒ 0.9~2.5	⇒ 0.6~2.4	0.6~2.2	⇒ 0.5~1.8
由良川	〃	⇒ 1.4~2.0	⇒ 1.5~2.5	1.7~2.4	⇒ 1.3~2.1	1.4~2.0	⇒ 1.1~1.6
加勢蛇川	〃	0.5~0.8	0.5~0.9	⇒ 1.0~1.2	⇒ 0.6~0.7	0.5~0.9	0.6
阿弥陀川	〃	<0.5~0.8	⇒<0.5~0.5	⇒ 1.2~1.3	⇒ 0.8~0.9	0.6~1.2	⇒ 0.6~0.7
佐陀川	〃	0.5~0.7	<0.5~0.6	⇒ 1.2~1.4	⇒ 0.6~1.2	⇒ 0.8~1.9	⇒ 0.7~1.1

(イ) 湖 沼

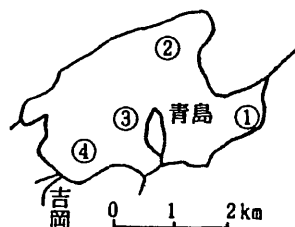
a 湖 山 池

湖山池は、環境基準の湖沼類型A及びIIIが定められているが、COD (75%値)は5.4~6.2mg/lと4地点とも環境基準に適合しておらず、類型Cに相当している。又、全窒素 (T-N) 及び全磷 (T-P) についても4地点とも環境基準に適合しておらず、全窒素は類型IV~V、全磷は類型Vに相当している。その他の項目について環境基準適合率を見ると、DO 87.5%、SS 29.2%、大腸菌群数60.4%となっている。

水質の汚濁状況 (COD、全窒素、全磷) を前年度と比較するとやや悪化しているが、経年的に見ると近年やや良くなってきている。

表40 測定結果

地点番号 及び地点名	測定 日数	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	全窒素 (mg/l)	全 磷 (mg/l)	8年度 COD (mg/l)
①布勢地先	12	7.4	9.7	5.4 (5.3)	10	$3.6 \times 10^2$ ~ $1.7 \times 10^4$	0.64	0.070	4.6
②堀越地先	12	7.7	9.4	5.4 (4.8)	10	$4.0 \times 10^3$ ~ $9.2 \times 10^4$	0.59	0.063	4.2
③中央部	12	7.7	9.8	4.5 (5.2)	9	$9.0 \times 10^3$ ~ $4.7 \times 10^3$	0.62	0.069	4.5
④松原地先	12	8.0	9.6	4.9 (5.4)	9	$1.5 \times 10^3$ ~ $8.7 \times 10^3$	0.53	0.057	4.6



COD (最大~最小値)  
×75%値

( ) 内は75%値

T-N: □ □ T-N・T-Pの経年変化 + +: T-P  
中央部 (上層)

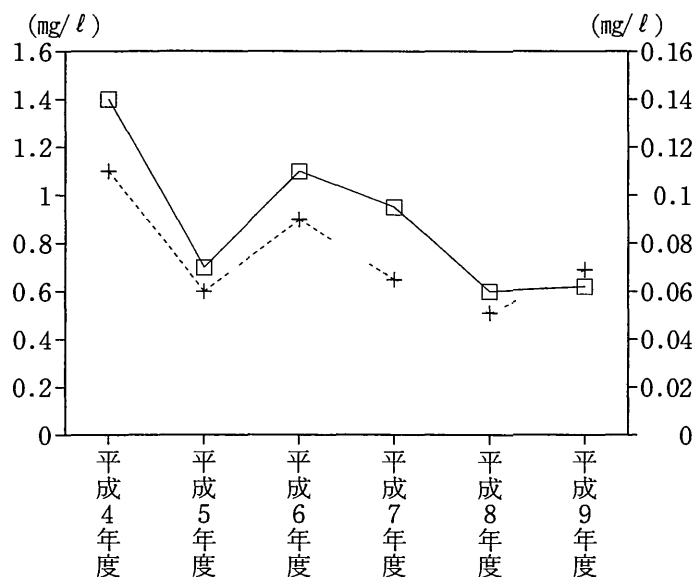
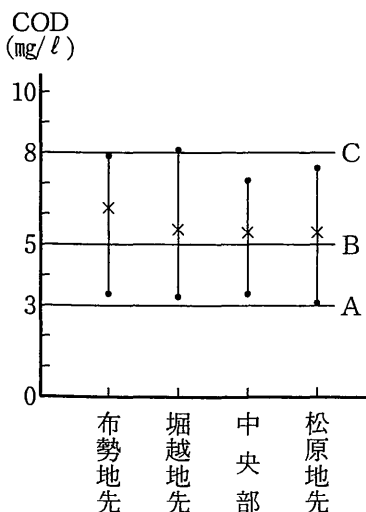


表41 経年変化

水 域 名	地 点 名	COD年平均值 (mg/l)					
		H 4 年度	H 5 年度	H 6 年度	H 7 年度	H 8 年度	H 9 年度
湖 山 池	4 地 点	⇒6.8~7.8	⇒5.2~5.7	⇒7.7~8.2	⇒6.3~7.2	⇒4.2~4.6	⇒4.9~5.4

b 多鯰ヶ池

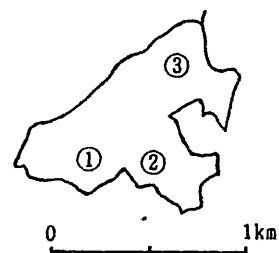
多鯰ヶ池は、環境基準の類型指定がなされていないが、COD (75%値) で見ると2.8~3.1mg/lと湖沼類型A~Bに相当している。湖内の3地点の全窒素 (T-N) 及び全磷 (T-P) はそれぞれ0.59~0.63mg/l及び0.007~0.018mg/lである。

水質の汚濁状況 (COD、全窒素、全磷) を前年度と比較するとやや悪化しているが、経年的に見るとほぼ同程度である。

表42 測定結果

地点番号 及び地点名	測定 日数	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	全窒素 (mg/l)	全磷 (mg/l)	8年度 COD (mg/l)
① 西部	4	6.8	7.7	3.2 (3.0)	2	8.9 ~3.7×10 <sup>3</sup>	0.63	0.008	2.9
② 東南部	4	6.8	8.6	3.0 (3.1)	2	1.4×10 <sup>3</sup> ~4.7×10 <sup>3</sup>	0.59	0.007	2.9
③ 北部	4	6.8	8.4	3.0 (2.8)	2	2.5×10 <sup>3</sup> ~8.7×10 <sup>3</sup>	0.62	0.008	2.8

(測定地点図)



( ) 内は75%値

COD (最大~最小値)  
×75%値

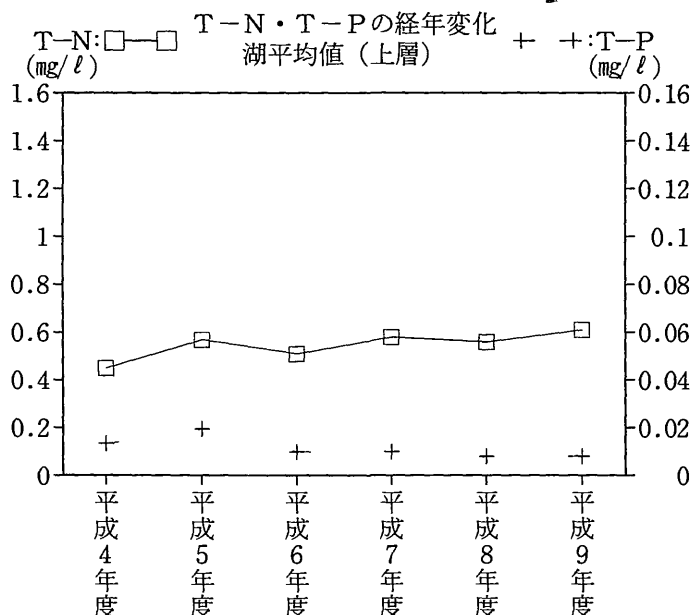
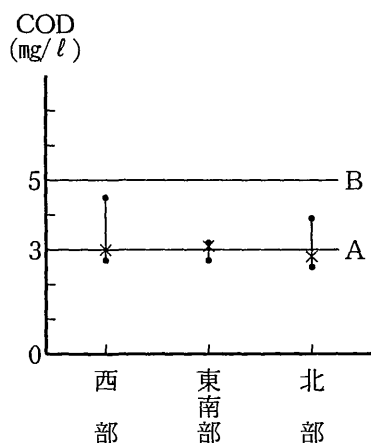


表43 経年変化

水域名	地点名	COD年平均値 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
多鯰ヶ池	3地点	→4.0~5.1	4.2~5.1	⇒3.2~3.5	3.2~3.4	⇒2.8~2.9	3.0~3.2

c 東郷池

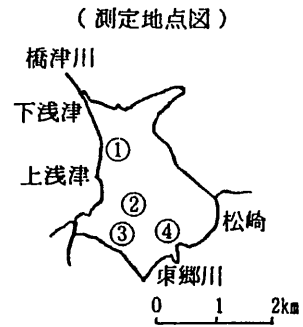
東郷池は、環境基準の湖沼類型Aが定められているが、COD (75%値) で見ると、5.2~5.4mg/lと4地点とも環境基準に適合しておらず、類型C相当と汚濁している。また、全窒素 (T-N) 及び全磷 (T-P) についてみるとそれぞれ0.87~0.91mg/l及び0.058~0.068mg/lと富栄養化している。その他の項目の環境基準適合率は、DO91.7%、SS6.2%及び大腸菌群数62.5%となっている。



水質の汚濁状況（COD、全窒素、全磷）を前年度と比較するとやや悪化しているが経年的に見るとほぼ同程度である。

表44 測定結果

地点番号及び地点名	測定日数	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	全窒素 (mg/l)	全磷 (mg/l)	8年度COD (mg/l)
①下浅津地先	12	8.2	10	4.9 (5.2)	12	5.6 ~1.0×10 <sup>4</sup>	0.87	0.063	4.1
②中央部	12	7.9	10	5.1 (5.4)	12	2.4×10 <sup>4</sup> ~2.4×10 <sup>4</sup>	0.87	0.063	4.0
③野花地先	12	8.2	10	5.0 (5.3)	13	2.3×10 <sup>4</sup> ~2.4×10 <sup>4</sup>	0.90	0.068	3.9
④松崎地先	12	8.2	10	5.0 (5.2)	9	7.2×10 <sup>4</sup> ~2.0×10 <sup>4</sup>	0.91	0.058	3.9



( ) 内は75%値

COD (最大~最小値) ×75%値

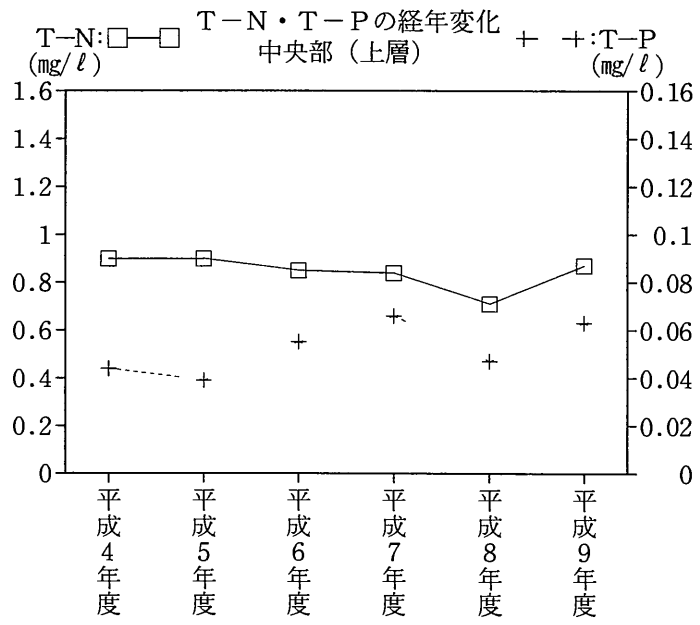
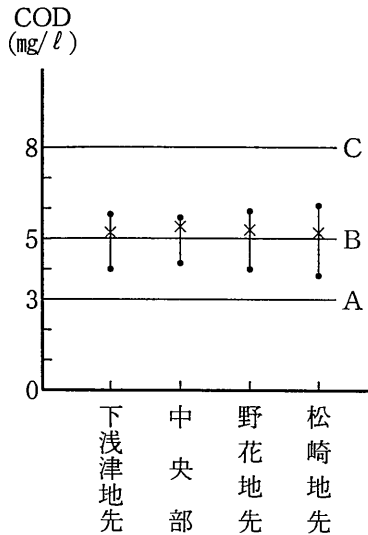


表45 経年変化

水域名	地点名	COD年平均値 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
東郷池	4地点	⇒4.2~4.5	⇒3.6~3.7	4.1~4.3	⇒5.0~5.2	⇒3.9~4.1	⇒4.9~5.1

d 中海

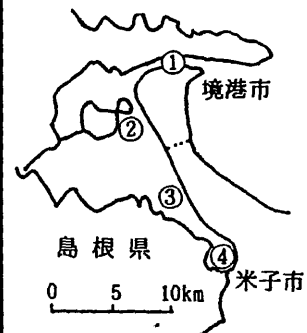
中海は湖沼類型A及びIIIの環境基準が定められている。鳥取県水域について4地点のCOD (75%値) で見ると、境水道中央部 (2.9mg/l)、葭津地先 (4.3mg/l)、米子湾中央部 (5.7mg/l)、渡町地先 (3.2mg/l) は類型A~C相当となっている。また、全窒素 (T-N) 及び全磷 (T-P) について3環境基準地点を見ると、類型IIIの環境基準に対し、類型IV~V相当で基準を満足していない。他の項目の環境基準適合率を見ると、DO53.5%、SS49.6%、大腸菌群数84.9%となっている。

水質の汚濁状況（COD、全窒素、全磷）を前年度と比較すると一部の水域で、やや良くなっているが、全水域を経年の見るとほぼ同程度である。

表46 測定結果

地点番号 及び地点名	測定 日数	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	全窒素 (mg/l)	全磷 (mg/l)	8年度 COD (mg/l)
① 境水道 中央部	19	8.3	8.1	2.6 (2.9)	5	4.8 ~3.5×10 <sup>3</sup>	0.42	0.036	2.4
② 渡町地先	12	8.3	7.5	3.2 (3.2)	5	1.3 ~2.4×10 <sup>3</sup>	0.44	0.041	2.8
③ 葭津地先	19	8.3	7.2	4.0 (4.3)	6	1.4×10 <sup>3</sup> ~1.6×10 <sup>3</sup>	0.50	0.047	4.8
④ 米子湾 中央部	19	8.5	9.1	5.6 (5.7)	8	5.0 ~1.3×10 <sup>4</sup>	0.86	0.094	6.2

(測定地点図)



( ) 内は75%値

COD (最大~最小値)  
×75%値

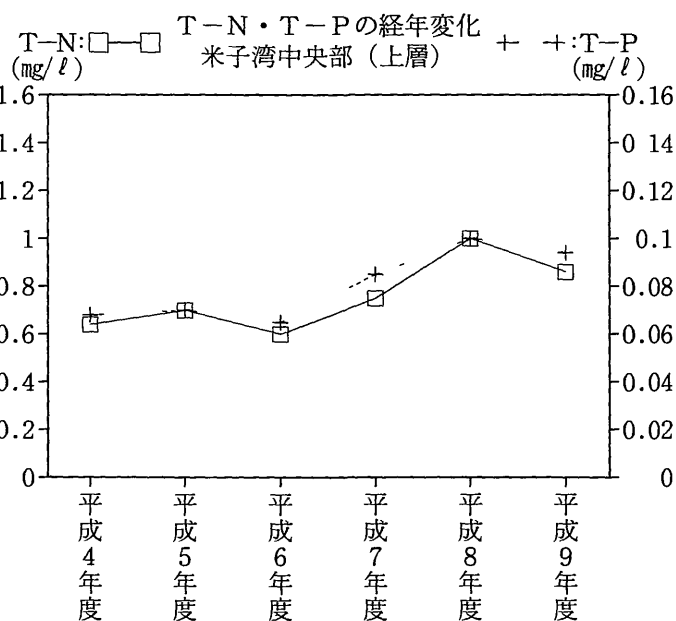
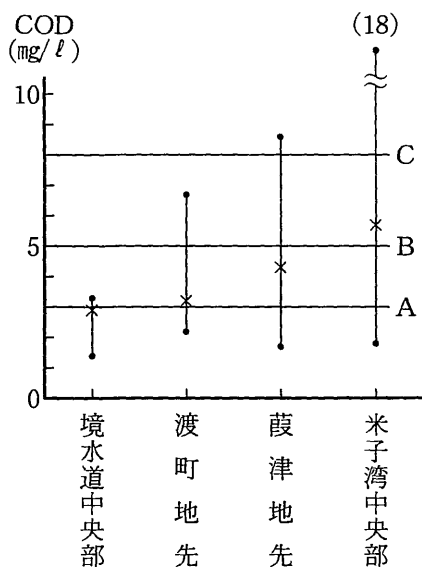
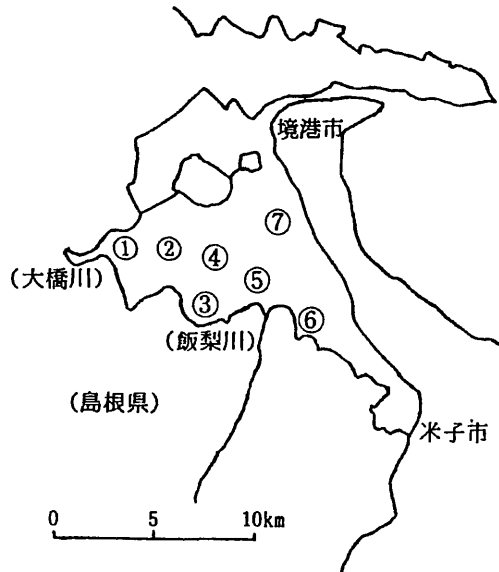


表47 経年変化

水 域 名	地 点 名	COD年平均値 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
中 海	4 地 点	2.3~4.9	2.8~4.7	2.9~5.2	2.4~5.1	2.4~6.2	2.6~5.

(H4年度までは小篠津町地先を含む5地点の値。)

〈参考〉 中海島根県水域の測定結果（建設省及び島根県測定）



地点番号 及び地点名	測定 日数	DO (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	8年度 COD (mg/l)
①大橋川 河口地先	20	8.0	6.8 (5.4)	12	4.5
②意東鼻 地先	20	7.7	5.0 (4.8)	7	4.7
③羽入川 河口地先	23	7.2	5.1 (5.1)	8	5.8
④中海 中央部	23	7.0	4.3 (4.2)	6	4.9
⑤飯梨川 河口地先	23	6.8	4.4 (4.5)	7	4.7
⑥安来港 地先	23	6.9	5.0 (5.6)	8	5.5
⑦小篠津町 地先	12	7.6	5.1 (3.6)	7	3.6

( ) 内は75%値

〈参考〉 諏訪湖、霞ヶ浦、琵琶湖及び児島湖の環境基準のあてはめ並びに水質汚濁状況との比較

水域名	都道府県	類型指定 年月日	指定類型		達成期間	COD測定値 (mg/l) : 平均値				
			湖沼 類型	COD		測定箇所	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度
諏訪湖	長野	46.5.25	A	3mg/l以下	5年を超える期間 で可及的速やかに	湖心	7.1 (6.2)	4.6 (5.3)	6.4 (8.1)	4.7 (5.1)
霞ヶ浦	茨城	47.11.6	"	"	"	"	8.4 (8.7)	9.0 (9.4)	8.5 (8.9)	9.0 (9.2)
琵琶湖 (北湖)	滋賀	47.4.6	AA	1mg/l以下	直ちに達成	北小湖 (北松沖)	2.5 (2.9)	2.4 (2.6)	2.5 (2.8)	2.4 (2.7)
" (南湖)	"	"	"	"	5年を超える期間 で可及的速やかに	南唐崎沖 (唐崎中)	4.4 (3.8)	3.0 (3.2)	3.2 (3.6)	2.8 (3.0)
児島湖	岡山	46.5.25	B	5mg/l以下	"	湖心	10 (11)	10 (11)	9.4 (10)	8.6 (9.4)
湖山池	鳥取	46.9.14	A	3mg/l以下	5年以内で可及的 速やかに	"	7.8 (9.5)	6.3 (8.6)	4.5 (5.2)	5.1 (5.4)
東郷池	"	"	"	"	"	"	4.2 (5.0)	5.2 (5.9)	4.0 (4.3)	5.1 (5.4)
中海	"	47.10.31	"	"	"	境水道 中央部	2.9 (3.4)	2.4 (2.8)	2.4 (2.8)	2.6 (2.9)
"	"	"	"	"	"	米子湾 中央部	5.2 (5.9)	5.1 (6.0)	6.2 (7.5)	5.6 (5.7)

( ) 内は75%値

(ウ) 海 域

a 美保湾

美保湾のうち、境港外港港湾計画水域（地点番号②）は、海域類型B、その他の水域は類型Aの基準が定められている。水質の状況をCOD（75%値）で見ると、測定地点8地点のうち1地点（類型A）を除き、すべて環境基準に適合している。そのほかの項目の環境基準適合率をみると、類型A水域ではDO77.4%、油分100%、大腸菌群数92.9%、類型B水域ではDO、油分とも100%の適合率である。

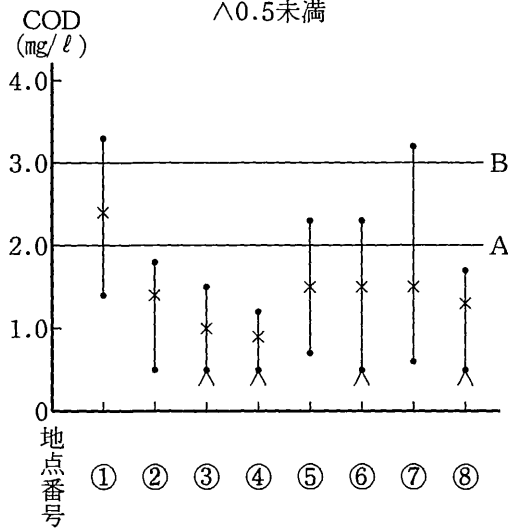
水質の汚濁状況（COD）を前年度と比較すると、やや悪化しているが、経年的に見るとほぼ同程度である。

表48 測定結果

調査地点番号 及び地点名	指定 類型	測定 日数	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	油分 (mg/l)	8年度 COD (mg/l)
① 境港市昭和町防波堤 燈台の北方0.2km	A	12	8.4	8.3	2.1 (2.4)	$<1.8\sim4.6\times 10^3$	ND	1.7
② 境港市福定町地先 沖合1.0km	B	12	8.4	7.9	1.1 (1.4)	$<1.8\sim2.9\times 10^3$	ND	1.0
③ 境港市福定町地先 東方4.0km	A	12	8.3	8.2	0.9 (1.0)	$<1.8\sim2.8\times 10^3$	ND	0.9
④ 米子市大篠津町地先 沖合0.5km	A	12	8.3	8.0	0.8 (0.9)	$<1.8\sim1.2\times 10^2$	ND	0.8
⑤ 米子市皆生地先 0.5km	A	12	8.3	8.0	1.3 (1.5)	$<1.8\sim1.5\times 10^3$	ND	1.2
⑥ 日野川河口地先 北方1.0km	A	12	8.3	8.0	1.4 (1.5)	$1.9\sim2.8\times 10^3$	ND	1.2
⑦ 日野川河口地先 北東方1.0km	A	12	8.3	8.0	1.4 (1.5)	$1.9\sim1.3\times 10^4$	ND	0.9
⑧ 淀江町佐陀地先 0.5km	A	12	8.3	8.1	1.1 (1.3)	$<1.8\sim5.4\times 10^3$	ND	0.8

( ) 内は75%値 ND 検出されず

(COD最大~最小値)  
×75%値  
△0.5未満



(測定地点図)

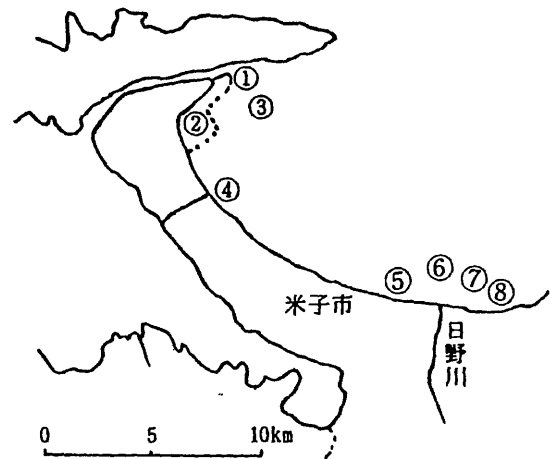


表49 経年変化

水 域 名	地 点 名	COD年平均值 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
美 保 湾	8 地点	1.3~2.1	⇒1.0~1.7	0.8~2.1	⇒0.8~1.7	0.8~1.7	⇒0.8~2.

b 日本海沿岸海域

日本海沿岸海域は、海域類型Aの環境基準が定められている。水質測定は、距岸1kmの8地点で行ったが、8地点のCOD(75%値)は1.2~1.8mg/lですべて環境基準に適合している。また、本海域では油分も不検出であり、清浄な水質を維持している。

平成9年度に開設された17海水浴場について各3回ずつ水質調査を行った結果、すべての海水浴場が透明度1m以上、COD2.0mg/l以下、ふん便性大腸菌群数50個/100ml以下、油分NDとすべて「鳥取県海水浴場整備促進要綱」で定める水質基準に適合しており、環境庁の海水浴場判定基準の水質A:A~A(水質が特に良好な水浴場~水質が良好な水浴場)となっている。

表50 測定結果

調査地点名	指定 類型	測定 日数	pH	DO (mg/l)	COD (mg/l)	大腸菌群数 (MPN/100ml)	油分 (mg/l)	8年度 COD (mg/l)
岩美町浦富地先 1.0 km	A	3	8.3	8.0	1.0(1.3)	<1.8~2.3×10	ND	1.0
福部村湯山地先 1.0 km	A	3	8.4	8.0	1.0(1.5)	<1.8~2.0	ND	0.8
鳥取市堀越地先 1.0 km	A	3	8.4	8.1	1.0(1.3)	<1.8	ND	0.7
気高町八幡地先 1.0 km	A	3	8.4	8.1	1.1(1.4)	<1.8	ND	0.6
泊村泊地先 1.0 km	A	3	8.2	7.9	1.3(1.8)	1.8~7.9×10	ND	0.7
北条町松神地先 1.0 km	A	3	8.2	7.8	1.0(1.2)	<1.8~1.7×10 <sup>2</sup>	ND	0.7
大栄町大谷地先 1.0 km	A	3	8.3	7.8	1.1(1.2)	<1.8~2.2×10	ND	1.0
中山町御崎地先 1.0 km	A	3	8.3	7.8	1.2(1.6)	<1.8~2.0	ND	1.0

( )内は75%値 ND 検出されず

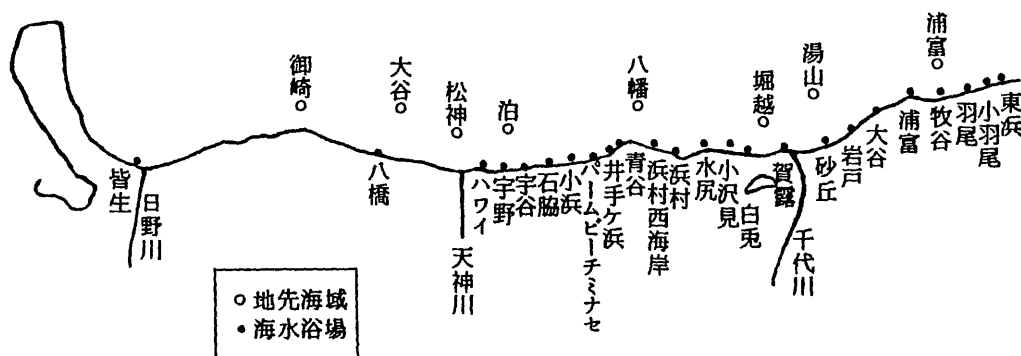
表51 経年変化

水 域 名	地 点 名	COD年平均値 (mg/l)					
		H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度
日本海沿岸	8地点	0.9~1.4	0.5~1.0	0.5~0.7	0.7~1.1	0.6~1.0	1.0~1.3

表52 海水浴場水質調査結果

海水浴場名	採水地点数	採水回数	測定項目			
			透明度 (m)	pH	COD (mg/l)	ふん便性大腸菌群数 (個/100ml)
東浜海水浴場	6	3	>1	8.1~8.3	<0.5~1.4	<2
小羽尾海水浴場	3	〃	>1	8.1~8.3	<0.5~1.2	<2
羽尾海水浴場	3	〃	>1	8.1~8.2	0.8	<2
牧谷海水浴場	3	〃	>1	8.1~8.2	0.8~1.1	<2
浦富海水浴場	5	〃	>1	8.1~8.2	<0.5~1.2	<2
大谷海水浴場	開設せず	—	—	—	—	—
岩戸海水浴場	3	3	>1	8.2~8.3	<0.5~1.2	<2
砂丘海水浴場	3	〃	>1	8.2~8.3	<0.5~1.6	<2
賀露海水浴場	開設せず	—	—	—	—	—
白兔海水浴場	4	3	>1	8.2~8.3	0.6~1.5	<2
小沢見海水浴場	2	〃	>1	8.1~8.3	<0.5~1.7	<2
水尻海水浴場	2	〃	>1	8.2~8.3	<0.5~1.6	<2
浜村海水浴場	3	〃	>1	8.2~8.3	0.7~1.8	<2
浜村西海岸海水浴場	開設せず	—	—	—	—	—
青谷海水浴場	開設せず	—	—	—	—	—
井手ヶ浜海水浴場	4	3	>1	8.2~8.3	0.9~1.6	<2
パームビーチミナセ	開設せず	—	—	—	—	—
小浜海水浴場	開設せず	—	—	—	—	—
石脇海水浴場	3	3	>1	8.2~8.3	1.4~1.6	<2~2
宇谷海水浴場	開設せず	—	—	—	—	—
宇野海水浴場	3	3	>1	8.2~8.3	1.4~1.5	<2~2
ハワイ海水浴場	3	〃	>1	8.2~8.3	1.0~1.2	<2
八橋海水浴場	3	〃	>1	8.2~8.3	1.1~1.4	2~29
皆生温泉海水浴場	2	〃	>1	8.1~8.4	0.7~1.4	<2

(日本海沿岸海域測定地点図)



#### 4 地下水の水質の現況

県内の地下水について、水質汚濁防止法に基づく水質測定計画を定め、関係機関（建設省）の協力を得て、水質の測定を行った。

##### (1) 地下水の評価基準等

地下水については、平成元年9月の水質汚濁防止法一部改正により、水質汚濁の状況について常時監視することとされ、平成9年3月には地下水の水質汚濁に係る環境基準が設定された。

なお、測定項目は23項目でその環境基準は下表のとおりである。

表53 地下水の水質汚濁に係る環境基準

(平成9年3月13日環境庁告示第10号)

項 目	環 境 基 準
カドミウム	0.01mg/ℓ以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/ℓ以下
六価クロム	0.05mg/ℓ以下
砒素	0.01mg/ℓ以下
総水銀	0.0005mg/ℓ以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB	検出されないこと
トリクロロエチレン	0.03mg/ℓ以下
テトクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下
四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.02mg/ℓ以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1 mg/ℓ以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下
1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下
チウム	0.006mg/ℓ以下
シマジン	0.003mg/ℓ以下
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下
ベンゼン	0.01mg/ℓ以下
セレン	0.01mg/ℓ以下

##### (2) 地下水質測定結果

県内4市（鳥取市、倉吉市、米子市、境港市）の合計23箇所の井戸について、上記の23項目について、年2回の水質測定を行った結果、鳥取市青葉町（No.3）から砒素が環境基準を超えて検出されたが、その他についてはいずれも環境基準に適合していた。

表54 測定結果 (第9回 平成9年7月~9月)

調査地点			調査項目 (単位: mg / l)																							
市町村名	地区名	井戸番号	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	PCB	トクロロエチレン	アトフクロロエチレン	四塩化炭素	ジクロロメタン	1,2ジクロロエタン	1,1,1トリクロロエタン	1,1,2トリクロロエタン	1,1ジクロロエチレン	スス1,2ジクロロエチレン	1,3ジクロロプロペン(D D)	チウラム	シマジン(CAT)	チオベンカルブ(ベンチオカ)	ベンゼン	セレン	
鳥取市	田園町	建 1									<0.002	<0.0005														
		建 2									<0.002	<0.0005														
	寿町	No. 2	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	青葉町	No. 3	<0.001	ND	<0.005	<0.005	0.032	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	桜谷	No. 11	<0.001	ND	<0.005	<0.005	0.006	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
倉吉市	立川町	No. 13	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	宮川町	No. 4	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	八屋	No. 5	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	伊木	No. 24	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
米子市	福庭	No. 21	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	車尾	建 3									<0.002	<0.0005														
	中島	No. 7	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	富士見町	No. 22	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	灘町	No. 23	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	0.0065	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	0.008	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	寺町	No. 26	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	立町	No. 19	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	旗ヶ崎	No. 27	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	中町	No. 25	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	朝日町	No. 28	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
境港市	錦町	No. 17	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002
	蓮池町	No. 20	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.008	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.001	<0.002

ND 検出されず



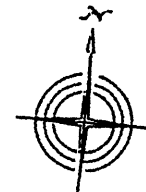
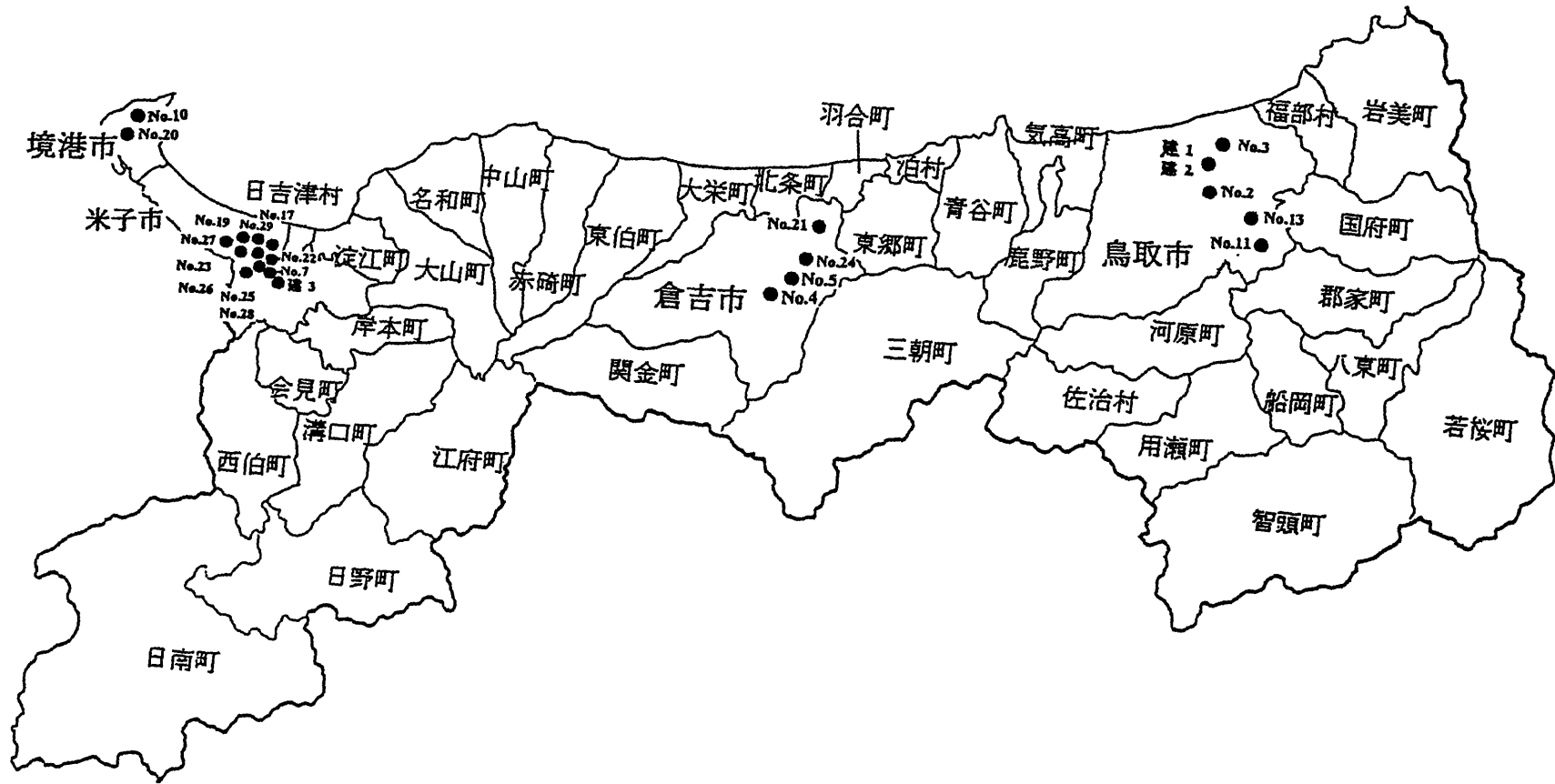
表55 測定結果 (第2回 平成9年11月~12月)

調査地点			調査項目 (単位: 略 / l)																							
市町村名	地区名	井戸番号	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	PCB	トクロロエチレン	アトフクロロエチレン	四塩化炭素	ジクロロメタン	1,2ジクロロエタン	1,1,1トリクロロエタン	1,1,2トリクロロエタン	1,1ジクロロエチレン	シス1,2ジクロロエチレン	1,3ジクロロプロペン(D,D)	チウラム	シマジン(CAT)	チオベンカルブ(ベンチオカ)	ヘンゼン	セレン	
鳥取市	田園町	建1																								
		建2																								
	寿町	No.2	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	青葉町	No.3	<0.001	ND	<0.005	<0.005	0.019	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	桜谷	No.11	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.003	<0.002	
倉吉市	立川町	No.13	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	宮川町	No.4	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	八屋	No.5	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	伊木	No.24	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
米子市	福庭	No.21	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	車尾	建3																								
	中島	No.7	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	富士見町	No.22	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	灘町	No.23	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	0.0012	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	寺町	No.26	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	立町	No.19	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	旗ヶ崎	No.27	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	中町	No.25	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	朝日町	No.28	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
境港市	錦町	No.17	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	
	蓮池町	No.20	<0.001	ND	<0.005	<0.005	<0.005	<0.0005	ND	ND	<0.002	<0.0005	<0.0002	<0.002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.002	<0.004	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	

注) 建設省実施分の井戸番号「建1」、「建2」、「建3」については年間1回測定を実施。

ND 検出されず

图12 地下水質測定地点图



## 5 ゴルフ場農業に係る排水調査

県内の各ゴルフ場について、国が示した「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針について（平成2年5月24日付環水土第77号）」（以下「指針」という）に従い、排出口における排水の水質調査を実施した。

### (1) 調査概要

- ① 調査対象 県内18ゴルフ場 延べ、68地点
- ② 調査期間 平成9年5月～7月、9月～11月の2回
- ③ 調査機関 採水調査・保健所及び保健所支所  
分析・衛生研究所
- ④ 分析方法 環境庁の定めた標準分析法（平成2年5月24日付環水土第77号）
- ⑤ 調査項目 環境庁が定めた「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針」（平成2年5月24日付環水土第77号）で指針値の定められた35農薬（ただし、5～7月の調査では33農薬）

### (2) 調査結果

調査結果は、環境庁が示した「ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針」の指針値を超えるものはなかった。

	農薬名	検出頻度	濃度範囲 (mg/l)	環境庁暫定指導指針値 (mg/l)	定量限界 (mg/l)
殺虫剤	アセフェート	0/34	ND	0.8	0.001
	イソキサチオン	0/68	ND	0.08	0.001
	イソフェンホス	0/68	ND	0.01	0.001
	クロルピリホス	0/68	ND	0.04	0.001
	ダイアジノン	1/68	ND	0.05	0.001
	トリクロルホン	0/68	ND	0.3	0.001
	ピリダフェンチオン	0/68	ND	0.02	0.001
	フェートロチオン	2/68	ND～0.001	0.03	0.001
殺菌剤	イソプロチオファン	0/68	ND	0.4	0.001
	イプロジオン	0/68	ND	3	0.001
	エトリジアゾール	0/68	ND	0.04	0.001
	オキシシン銅	0/68	ND	0.4	0.001
	キヤクタ	0/68	ND	3	0.001
	クロロタロニル	0/68	ND	0.4	0.001
	クロロネブ	0/68	ND	0.5	0.001
	チウフ	0/68	ND	0.06	0.001
	トルクロホスメチル	0/68	ND	0.8	0.001
	フルトフニル	6/68	ND～0.002	2	0.001
	ベンシクロン	4/68	ND～0.003	0.4	0.001
	メタフキシル	2/68	ND～0.002	0.5	0.001
メプロール	0/68	ND	1	0.001	
除草剤	アシュフム	0/68	ND	2	0.001
	ジチオピル	0/68	ND	0.08	0.001
	シマジ	0/68	ND	0.03	0.001
	テルブカルブ	0/68	ND	0.2	0.001
	トリクロビルド	0/34	ND	0.06	0.001
	ナプロパミド	0/68	ND	0.3	0.001
	ビブラカルブ	0/68	ND	0.2	0.001
	ブタミホス	0/68	ND	0.04	0.001
	プロピザミド	0/68	ND	0.08	0.001
	ベンスリド	0/68	ND	1	0.001
	ベンフルリン	0/68	ND	0.8	0.001
	ペンディメタリン	0/68	ND	0.5	0.001
	メコプロップ	0/68	ND	0.05	0.001
	メチルダイムロン	0/68	ND	0.3	0.001

注 NDとは定量限界未満を示す